

平成24年1月11日

福島県立医科大学附属病院における年末年始期間中の 救急患者取扱状況について

年末年始期間中に本院の救命救急センター外来で診療を受けられた患者さんの状況については以下のとおりです。

【救命救急センター外来を利用された患者数】

12月29日から1月3日の年末年始期間中に本院の救命救急センター外来を利用された患者さんは合計で484人、1日平均80.7人となっています。うち救急車（ヘリを含む。）で搬送された患者さんは44人、1日平均で7.3人でした。これは前年の年末年始期間より患者さんの数は75人（1日平均12.5人）の減少、救急車搬送人数では4人の増加でした。

なお、年末年始期間中のドクターヘリの出動件数は10件（現場出動5件、転院搬送3件、別機関対応によるキャンセル2件）で、このうち本院への搬送件数は4件でした。（前年同期の出動件数4件、うち本院への搬送件数1件）

○救急救命センター外来利用患者数

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	64	96	74	74	84	92	484	80.7
うち救急車搬送	9	11	8	8	4	4	44	7.3

【年末年始の救命救急センター外来の運営体制】

センター医師の勤務体制は、日勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・研修医・輪番制医師各1名の計4名、夜勤帯は救急科医師・政策医療等支援医・輪番制医師各1名の計3名体制で行いました。また、各診療科では重症患者に対し専門医が駆けつけることができるようバックアップ体制をとりました。看護体制は日勤3名、準夜勤3名、深夜勤2名を配置し来院患者の診療処置にあたりました。

処置、点滴注射の実施にあたり救急センターの場所だけでは対応不可能な場合、一時的に病棟のベッド等を借りて対応しました。検査、薬についても、24時間体制で放射線技師、検査技師、薬剤師が対応しました。

（担当 病院経営課 病院企画係）

【参考】

・診療科別の受診状況

診療科別の患者数は救急科が93人で最も多く、次いで産科婦人科が52人、小児科43人の順となっています。

・地域別の来院状況（実数）

県北地域が343人、次いで相双地区33人（うち避難先からの来院19人）、県中地域が22人の順となっています。

・ドクターヘリの要請消防本部別出動数

相馬4件、安達3件、白河、郡山、いわき各1件となっています。

・過去の年末年始の状況

○平成19年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	61	89	128	95	103	95	571	95.2
うち救急車搬送	1	4	4	2	3	3	17	2.8

年間			
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	39.0	23.6	69.8
うち救急車搬送	3.9	4.2	3.1

○平成20年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	121	136	129	114	128	122	750	125.0
うち救急車搬送	5	5	3	7	3	3	26	4.3

年間			
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	37.3	22.1	67.6
うち救急車搬送	3.8	3.8	4.0

○平成21年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	65	93	92	70	66	69	455	75.8
うち救急車搬送	7	9	0	5	3	4	28	4.7

年間			
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	39.5	34.7	49.1
うち救急車搬送	4.1	4.0	4.2

○平成22年度

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	合計	1日平均
患者数	63	94	113	77	89	123	559	93.2
うち救急車搬送	4	7	5	7	4	13	40	6.7

年間			
	1日平均	診療日平均	休診日平均
患者数	34.5	21.9	59.5
うち救急車搬送	4.8	4.9	4.6